



産業廃棄物広域認定第39号取得

小型充電式電池/リサイクル

一般社団法人 **JBRC**

〒105-0011

東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館

(お問い合わせ)

TEL 03-6403-5673 FAX 03-6403-5683

交通アクセス

| | |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地下鉄 | 東京メトロ日比谷線「神谷町」駅下車 徒歩約7分 都営大江戸線「赤羽橋」駅下車 徒歩約8分 都営三田線「御成門」駅下車 徒歩約8分 都営浅草線「大門」駅下車 徒歩約15分 |
| J R | 「浜松町」駅下車 徒歩約18分 |
| バス | 〈浜松町～東京タワー路線〉 〈渋谷～東京タワー路線〉 「東京タワー前」下車すぐ |

<http://www.jbrc.com>



この印刷物は環境にやさしい
植物油インクを使用しています。
2015年12月

小型充電式電池 リサイクルのご案内

RECYCLE GUIDANCE



捨てないで! このマークの小型充電式電池は
機器から取り外してリサイクル

小型充電式電池/リサイクル
一般社団法人 **JBRC**

Japan Portable Rechargeable Battery Recycling Center

JBRCは法に基づき小型充電式電池のリサイクル活動を推進しています。



小型
充
電
式
電
池

R e c y c l e

限りある地球の資源を大切に

現在、日本の主要な資源の大半は輸入に頼っています。世界的に見ても、大量の資源が有効利用されずに廃棄されています。「資源の再利用」は地球規模の大きなテーマです。

日本では、2000年5月に「循環型社会形成推進基本法」が制定され、これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄社会を見直し、循環を基本にした循環型社会を目指すと宣言されています。

JBRCは小型充電式電池のリサイクル活動を共同で行う団体として、2001年に施行された「資源の有効な利用の促進に関する法律」(以下『資源有効利用促進法』と略称)に基づき、小型充電式電池の回収・再資源化が義務づけられた小型充電式電池メーカー・同電池の使用機器メーカー、それらの輸入事業者などが会員となり、同年4月にスタートしました。

2004年4月より、事業のさらなる充実をめざし「有限責任中間法人JBRC」を設立し、同年12月には廃棄物処理法・産業廃棄物広域認定を取得、2008年12月の「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」施行に伴う中間法人法の廃止により、2009年6月に「一般社団法人JBRC」に名称変更しました。JBRCに登録された全国のリサイクル協力店、協力自治体、リサイクル協力事業者等の回収拠点から、会員企業の小型充電式電池を回収し、再資源化を推進しています。

- 小型充電式電池の自主回収及び再資源化システムの構築・運営
- 関係業界や自治体、市民団体などへの協力のお願いと情報の提供
- 小型充電式電池のリサイクルに関する広報と啓発
- 小型充電式電池リサイクルに関する市町村との連携
- 小型充電式電池リサイクルに関する実績の公表
- リサイクル協力店などの回収拠点網の構築

団体名 一般社団法人 JBRC
設立 2004年4月1日
所在地 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館
会員数 312社(2015年12月1日現在)
組織 理事会
代表理事 1名
副代表理事 1名
専務理事 1名
理事 4名
監事 2名
事務局

ISO14001認証

適用規格 ISO14001:2004
JIS Q 14001:2004
登録番号 TECO-ER-00092
新規登録日 2005年3月29日
更新登録日 2011年3月29日
製品・サービスの範囲 小型充電式電池の回収・再資源化の推進



JBRCは「資源有効利用促進法」に基づいて使用済指定再資源化製品の共同自主回収及び再資源化を推進しています。

「資源有効利用促進法」とは?

1991年に制定された「再生資源の利用の促進に関する法律」が、「循環型社会形成推進基本法」の制定に対応して抜本的に改正され、2001年4月に施行されたのが「資源有効利用促進法」です。従来の法律では産業界の取り組みとしてリサイクルだけを想定していたのに対し、「資源有効利用促進法」では、資源対策に必要な3R(リデュース:廃棄物発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再資源化)を推進するもので、資源効率や環境保全を視野においた経済システムを目指すことが狙いとなっています。

この法律に基づいて、小型充電式電池の回収・再資源化が電池メーカー、機器メーカー、および輸入事業者に義務づけられました。

JBRCは、廃棄物処理法広域認定を取得しています。

産業廃棄物広域認定

基準となる法律 : 廃棄物処理法第15条の4の3第1項
認定番号 : 第39号
認定日 : 平成16年12月2日
産業廃棄物の種類 : 小型充電式電池(密閉形ニッケル・カドミウム蓄電池、密閉形ニッケル・水素蓄電池及びリチウム蓄電池)が産業廃棄物となったもの



「廃棄物処理法 広域認定制度」とは?

廃棄物の処理及び清掃に関する法律(通称、廃棄物処理法)は廃棄物に関する基本的な法律で、廃棄物の区分や処理責任等が規定されています。なお、廃棄物とは有価では取引されないとされています。

廃棄物処理法には広域認定制度があります。これは、製品の製造等を行う者がその製品が廃棄物となったときの処理を広域的(全国的)に行おうとする場合、廃棄物の減量や再資源化等について適正な処理が確保されると環境大臣が認めたとき、地方公共団体毎の廃棄物処理業許可を不要とする特例制度です。

小型充電式電池はあらゆるところで使われています

循環型社会を目指して…

JBRCは小型充電式電池の回収・リサイクルを推進しています。

小型充電式電池は私たちの身の周りのあらゆる生活場面で活躍しています。小型充電式電池に使われている金属はニッケル、カドミウム、コバルトなどといった希少資源。

JBRCはこうした資源を大切に使うことを提案し、小型充電式電池のリサイクル活動を推進しています。

地球の貴重な資源を守り、環境保全を考えた循環型社会の形成に貢献し、地球環境と暮らしに根づいたリサイクルを推進しています。



充電して何度も使える小型充電式電池は通信機器やAV機器、OA機器などの製品や、普段は気付かないビルの非常灯や火災報知器にも使われ、私たちの身の周りにたくさんあり、暮らしに欠かせない存在です。



「小型充電式電池」を機器から取り外してください!

「小型充電式電池」はリサイクルマークが目印です



Ni-Cd
ニカド電池



Ni-MH
ニッケル水素電池



Li-ion
リチウムイオン電池

■ 小型充電式電池は「リサイクルマーク」が目印

小型充電式電池にはいろいろな種類があり、乾電池に似た形のものから1個または複数の電池をプラスチックケースに入れた電池パックなど、形もいろいろです。電池に表示された「リサイクルマーク」が小型充電式電池の目印です。



JBRCの歩み

1978年
(社)日本蓄電池工業会が、日本照明器具工業会及び火災報知機工業会の協力で防災用ニカド電池の回収ルートを構築

1985年
充電式であることを表示するためマーク(プラグマーク)を制定

1991年
・4月「再生資源の利用の促進に関する法律」(リサイクル法)制定
・リサイクルBOX設置施行と併行し、流通逆ルート回収強化を開始

1993年
・6月ニカド電池がリサイクル法

第2種指定製品(リサイクルマーク表示)に、ニカド電池使用機器が第1種指定製品(取り外し容易化)に制定

1996年
日本電気大型店協会全加盟店の回収協力スタート

1997年
・(社)日本蓄電池工業会と(社)日本乾電池工業会が統合し、(社)電池工業会となる。

1998年
全国電機商業組合連合会の回収協力スタート

2000年
・6月リサイクル法が「資源有効利用促進法」として改正
・スーパー・マーケット、ホームセンター等に回収協力拡大

2001年
・4月「資源有効利用促進法」施行、これにより小型充電式電池にリサイクルマーク表示とともに、リサイクルがメーカーの義務となる。

2004年
・4月(社)電池工業会を含む193社の会員により有限責任中間法人JBRC設立
・12月産業廃棄物広域認定取得

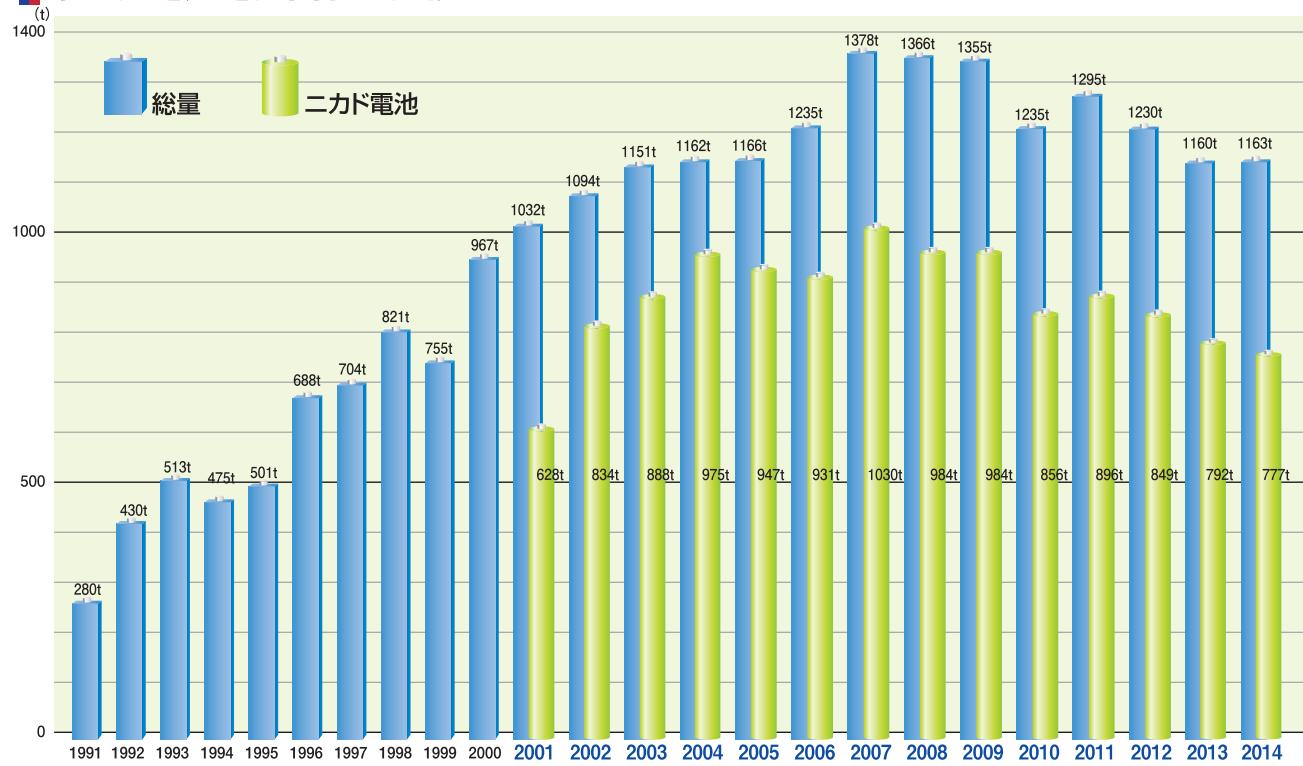
2005年
・3月ISO14001認証取得

2008年
・3月ISO14001認証更新

2009年
・6月「一般社団法人JBRC」に名称変更

2011年
・3月ISO14001認証更新

小型充電式電池回収量推移



JBRCのリサイクル対象となる小型充電式電池



会員一覧(2015年12月1日現在/312社)※五十音順

| | | |
|-------------------------|------------------------------|-------------------------|
| 株アイ・オー・データ機器 | 三和シヤッター工業(株) | 任天堂(株) |
| 株CSR | 株GSユアサ | 株ネクス |
| 株アイ・ティー・エクス | 株ジーコム | ネクスコン・ジャパン(株) |
| アイホン(株) | 株シーシーピー | 能美防災(株) |
| アイリスオーヤマ(株) | 株ジエイ・エム・エス | ノービル・インストルメント(株) |
| アグリテクノ矢崎(株) | 株JVCケンウッド | 株ノーリツ |
| (株)あさひ | ジェントス(株) | ハーマンインターナショナル(株) |
| 朝日医療科(株) | 株シングマ | 株ヴァルテックス |
| 朝日電器(株) | 株重松製作所 | ハイアール・アジア(株) |
| アジアズ | シナノケンシ(株) | VAIO(株) |
| アスカ | シャープ(株) | バイオニア(株) |
| アズビル(株) | シュナイダーエレクトリック(株) | バイオニアホームエレクトロニクス(株) |
| アドテック | 株松風 | ヴァイティックビデオコム(株) |
| アトムメディアカル(株) | 新神戸電機(株) | バコ電子工業(株) |
| アネスト岩田キャンベル(株) | 株新盛インダストリーズ | バシフィックザプライ(株) |
| アマノ(株) | 株ズーム | ハスクバーナ・ゼノア(株) |
| アレクサン | スキ(株) | 株初田製作所 |
| アンサー(株) | 株鈴木楽器製作所 | 株バッファロー |
| アンリツ(株) | 株スチール | バナソニック(株) |
| イオントップバリュ(株) | スリーエム・ジャパン(株) | バナソニックシステムネットワークス(株) |
| 株医器研 | スリーエム・ヘルスケア(株) | バナソニックヘルスケア(株) |
| 株泉精器製作所 | セイコーワンズル(株) | 株林エンターブラザーズ |
| 株ノメティックス | セイコーエプソン(株) | 株リューウェーブ |
| 岩崎通信機(株) | セイコーコロック(株) | 株バンダイ |
| 上田日本無線(株) | セイコーソリューションズ(株) | 株阪和 |
| 株ウェルキヤット | セイコータイムシステム(株) | 株PFU |
| 瓜生製作(株) | 星和電機(株) | ビーユージーDMG森精機(株) |
| AAポータブルパワーコーポレーション | セールス・オン・デマンド(株) | ビーンズユー(株) |
| HTC NIPPON(株) | セガトイズ | 日置電機(株) |
| 株エーオーアイ・ジャパン | セコム(株) | 東日本電信電話(株) |
| 株SKテック | 株セネラリーサーチオブエレクトロニックス | 株ピクセラ |
| エナックス(株) | 総合警備保障(株) | 日立アプライアンス(株) |
| エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジ(株) | 象印マホービン(株) | 日立機械(株) |
| NECエナジー・バイス(株) | 株Sohwa & Sophia Technologies | 日立国際電気 |
| NECエンジニアリング(株) | ソニー(株) | 日立コンシューマ・マーケティング(株) |
| NECパーソナルコンピュータ(株) | ソフバンクコマース&サービス(株) | 日立製作所 |
| NECプラットフォームズ(株) | 株第一興商 | 日立マクセル(株) |
| NECマグナスコミュニケーションズ(株) | 大研医器(株) | 日立リビングサプライ |
| NECライティング(株) | 株大興 | 株ヒューセック |
| エヌ・イー・ピー(株) | 大光電機(株) | ヒロボ(株) |
| エブソンドライект(株) | 大東電機工業(株) | 富士ゼロックス(株) |
| FDK(株) | 太陽誘電(株) | 富士通(株) |
| 株エボック社 | 株タカコム | 富士フィルム(株) |
| 株MTG | 株高砂製作所 | 双葉電子工業(株) |
| LG Electronics Japan(株) | 株タカラトミー | フラー工業(株) |
| 株エルモ社 | 株タカラトミー・アーツ | プラマイゼロ(株) |
| エレクトロラックス・ジャパン(株) | 株ダスキン | フランスベッド(株) |
| エレコム(株) | 株谷沢製作所 | プリヂストンサイクル(株) |
| 株エンパン | 多摩電子工業(株) | 古河電池(株) |
| 大井電気(株) | 株タミヤ | BLUEDOT(株) |
| 大崎データック(株) | 株筑水キャニコム | 古野電気(株) |
| 株オーディオテクニカ | ツインバード工業(株) | プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン(株) |
| オーデリック(株) | 株つくばイワサキ | ボーズ(株) |
| オーム電機 | TIアサヒ(株) | 株ボーターカ工業 |
| オール | ティアップ(株) | ホーチキ(株) |
| 沖電気工業(株) | 株ディーアンドエムホールディングス | ホダカラ(株) |
| オムロン(株) | 株TWS JAPAN | ホダカラ |
| オムロン・ヘルスケア(株) | TDK(株) | ホーリー(株) |
| オリンパス(株) | 株デジタル | ホーリーベット・ファスナー(株) |
| 株カーメイト | 株テスコム | 本田技研工業(株) |
| カシオ計算機(株) | テルモ(株) | マキタ(株) |
| 柏崎ユーステック(株) | 株電制 | マクス(株) |
| 株カスマ | 株デンソーウエーブ | 丸石サイクル |
| 株神奈川 | 株東芝 | マルナカ |
| 兼松(株) | 東芝テック(株) | 丸山製作所 |
| キーエンス | 東芝ライテック(株) | ミーレ・ジャパン(株) |
| キヤノン(株) | 東芝ライフスタイル(株) | ミニットヨ |
| キヤノン電子(株) | 株東日製作所 | 三菱電機(株) |
| キヤノンマーケティングジャパン(株) | 東洋アルミニコープロダクツ(株) | 三菱電機照明(株) |
| 株協栄製作所 | 東洋システム(株) | 三菱電機ホーム機器(株) |
| 京商(株) | トーカドエナジー(株) | ミヤタサイクル |
| 京セラ(株) | 株トップ | 村田製作所 |
| 京都機械工具(株) | 株トップブランド | メガチップス |
| 株キングジム | 株トブコ | メテク |
| キング通信工業(株) | 株ナカニシ | モトローラ・シリューションズ(株) |
| クリエイティブ・メディア(株) | 株ナカヨ | 八重洲無線(株) |
| クレイツ | 株ナックイメージテクノロジー | 山崎教育システム(株) |
| クローバー電子(株) | 株ナビタイム・ジャパン | 山崎産業(株) |
| グローブライド(株) | 株ニコ | ヤマトプロテック(株) |
| ケルヒヤー・ジャパン(株) | 西日本電信電話(株) | ヤマハ(株) |
| ケンコートコhiba(株) | 株西松屋チェーン | ヤマハ発動機(株) |
| コアテック(株) | 日機装(株) | ヤマハ(株) |
| コイズミ照明(株) | ニッセン・ジャパン(株) | ヤマハ(株) |
| 小泉成器(株) | 日信防災(株) | ヤマハ(株) |
| コヴィディエン・ジャパン(株) | ニッタン(株) | ユーニデン・ジャパン(株) |
| 光明理化学工業(株) | 日東工器(株) | ユビキタスエンターテインメント |
| コメット(株) | 株ニトリ | ユビキタス |
| コルグ | 日本アビオニクス(株) | リード・エレクトロニクス |
| コレガ | 日本アンテナ(株) | リコーエレクトロニクス |
| サイモト自転車(株) | 株日本HP | リコーエレクトロニクス |
| サクサ(株) | 日本遠隔制御(株) | リコーエレクトロニクス |
| サトー・テクノロジー(株) | 日本光電工業(株) | リコーエレクトロニクス |
| サナーエレクトロニクス(株) | 日本ゼンラル・アプライアンス(株) | リコーエレクトロニクス |
| サミット・グローバル・ジャパン(株) | 日本電気(株) | リコーエレクトロニクス |
| サラヤ(株) | 日本ドライケミカル(株) | リコーエレクトロニクス |
| ザワード | 日本パワーファスニング(株) | リコーエレクトロニクス |
| (株)三栄コーポレーション | 日本ヒルティ(株) | リコーエレクトロニクス |
| 三栄電機(株) | 日本フェンオール(株) | リコーエレクトロニクス |
| サンスター(株) | 日本マイクロソフト(株) | リコーエレクトロニクス |
| サンスター技研(株) | 日本無線(株) | リコーエレクトロニクス |
| サンワサプライ(株) | 日本レクセル(株) | リコーエレクトロニクス |

一般社団法人 電池工業会

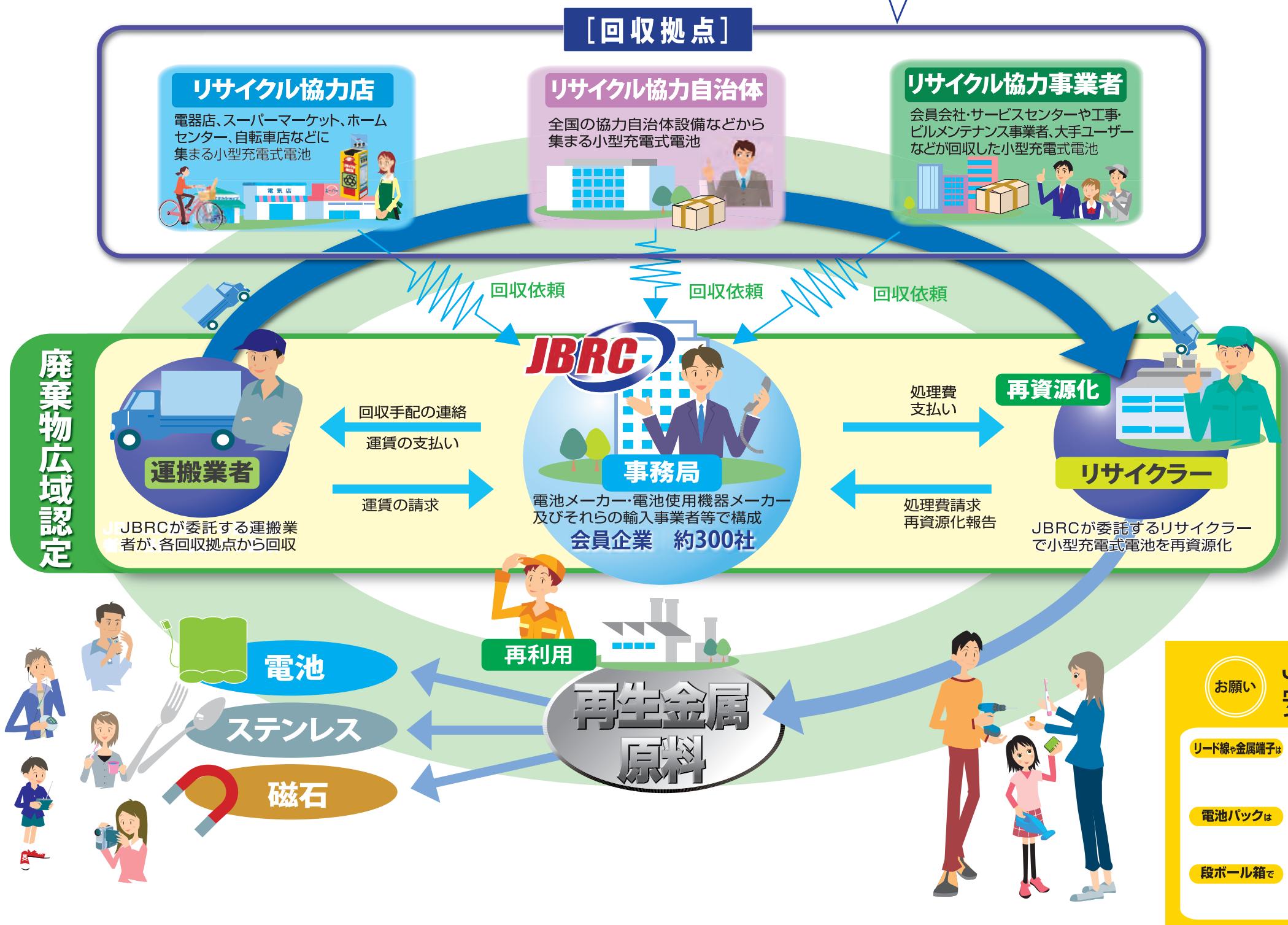
JBRCは全国的に、小型充電式電池のリサイクル活動を推進しています。

■ それぞれの連携と共同のもとに リサイクル

リサイクル活動は、企業や自治体だけができるものではありません。企業と自治体、そして私たち一人ひとりの協力があってこそ実現します。現在、約300社の企業がJBRCの会員となり、全国的に小型充電式電池のリサイクル活動を推進しています。

回収再資源化費用はJBRC会員が負担しています。

回収は[JBRC会員]企業の小型充電式電池が対象です。



■ 機器から取り外して「リサイクル」へ

「小型充電式電池」は機器から取り外して、リサイクルにしてください。「ご家庭の方」と「事業者の方」の場合は右記の通り。



「小型充電式電池」を
機器から取り外してください

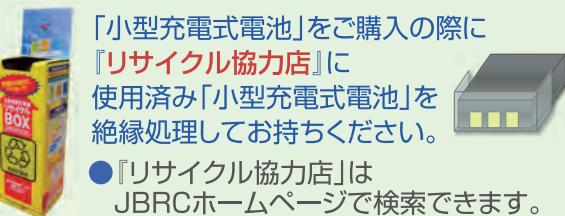
ご家庭の場合



絶縁のお願い



リサイクルにご協力ください



「小型充電式電池」をご購入の際に
「リサイクル協力店」に
使用済み「小型充電式電池」を
絶縁処理してお持ちください。
●「リサイクル協力店」は
JBRCホームページで検索できます。

事業者の場合



電池の種類ごとに分類*

絶縁のお願い



10~20kg単位で梱包してください



●「回収依頼」は事前の登録が必要です。
JBRCにお問い合わせください。

* 「小型充電式電池」の見分け方は9ページをご覧ください。

JBRCは小型充電式電池の
安全な回収をすすめています。

必ず！絶縁
解体！しない
しっかり！梱包

リード線や金属端子部等が露出したものは、ショートにより発熱・発火の恐れがありますので、絶縁テープで必ず絶縁してください。

プラスチックケースやビニールケースに入った電池パックは、解体すると金属端子が露出し、ショートの原因となります。絶対に解体しないでください。

運搬時に破損や金属端子のショートを防止するため、中の電池が動かないようにしっかりと梱包してください。

使用済みの小型充電式電池は、それぞれのプロセスを経て、再資源化されます。

小型充電式電池の見分け方

電池には、通信機器やAV機器、OA機器、防災機器などに使用されている小型充電式電池、一般的に使われている乾電池、時計などに使用されているボタン電池、自動車用のバッテリーなど、さまざまな種類があります。

JBRCは小型充電式電池のリサイクルを推進しています。

回収・リサイクルが必要であることを示す記号(スリーアローマーク)と電池の種類を示す英文字でリサイクルマークは構成されています。



その他の表示

法律施行以前に製造された製品はリサイクルマークがついてないものもあります。表示をチェックしてください。

ニカド電池

Ni-Cd

●ニッケルカドミウム蓄電池や密閉形Ni-Cdと表示される場合もあります。

ニッケル水素電池

Ni-MH

●ニッケル水素蓄電池や充電式ニッケル水素蓄電池と表示される場合もあります。

リチウムイオン電池

Li-ion

●Li-イオン、リチウムイオンと表示される場合もあります。

※メーカーにより表記や位置などは異なります。

JBRCのホームページ

<http://www.jbrc.com>

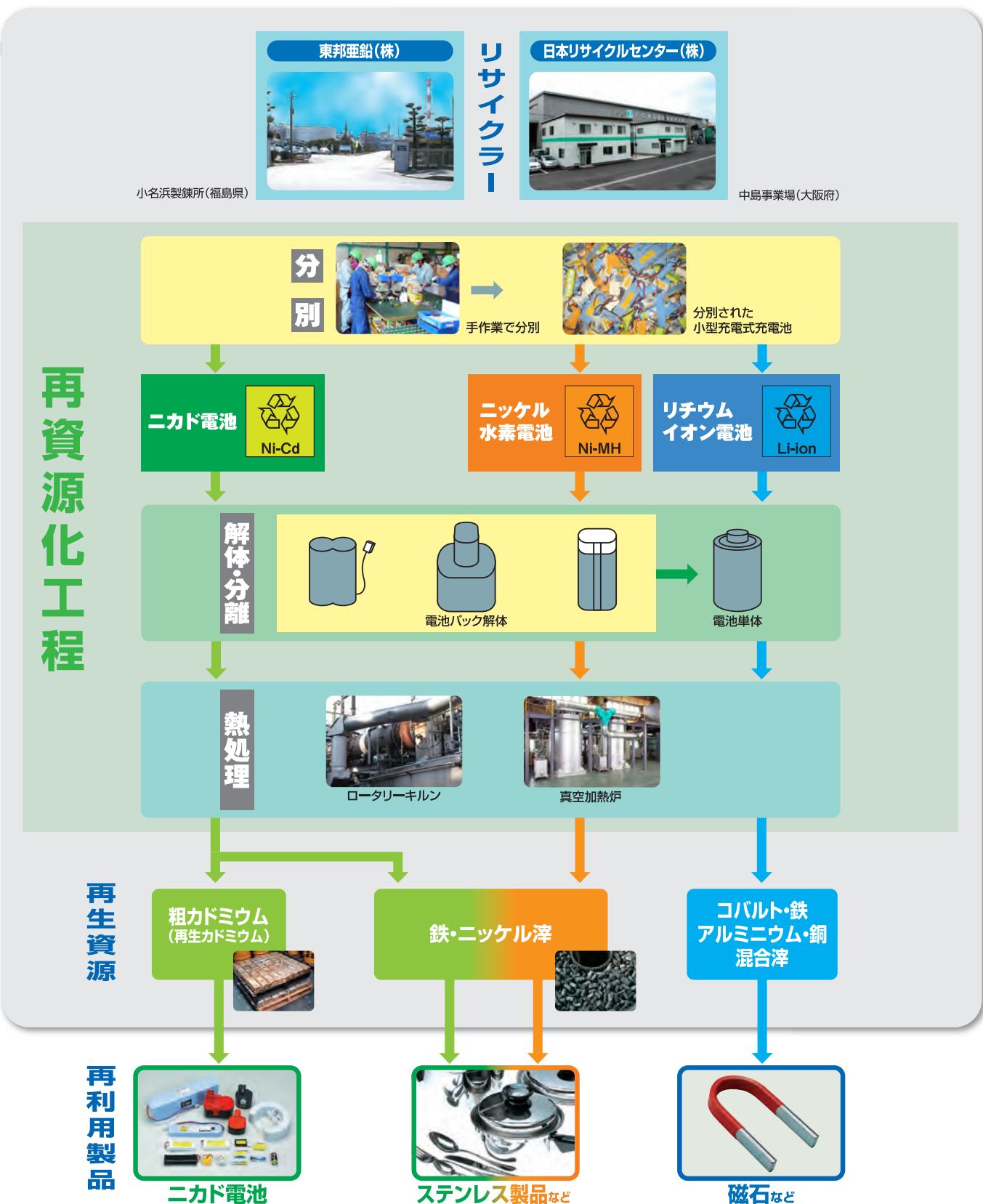
お近くの「リサイクル協力店」検索はこちらから!!



※デザイン・仕様等は変更する場合があります。

小型充電式電池の再資源化工程

みなさんのご協力で回収された小型充電式電池はリサイクラーの協力のもと、さまざまな工程を経て、ニッケル、鉄、カドミウム、コバルトなどの資源に再び生まれ変わります。



JBRCはホームページや、展示会、様々な媒体で情報発信しています。

JBRCは幅広く充電式電池のリサイクル活動を推進するため、様々な広報・PR活動を展開しています。ホームページの開設や新聞、専門紙などにもパブリシティ記事を提供して、より多くの皆様に、その趣旨をご理解していただくために、様々な媒体で情報発信しています。

また全国各地で開催される環境展などのイベントなどにも積極的に出展して、広報・PR活動に努めています。

そして、安全回収ハンドブックや安全処理ビデオを作成し、安全回収を推進しています。

<http://www.jbrc.com>

より多くの皆様に理解していただく活動



※デザイン・仕様等は変更する場合があります。

ホームページ

キッズアイランド

パンフレット



広告



※新聞・雑誌・インターネット広告など



詳しくは JBRC Q.検索 小型充電式電池リサイクル 一般社団法人 JBRC

全国イベント展示会出展



2015 NEW環境展 ● 東京



環境広場さっぽろ2015 ● 北海道



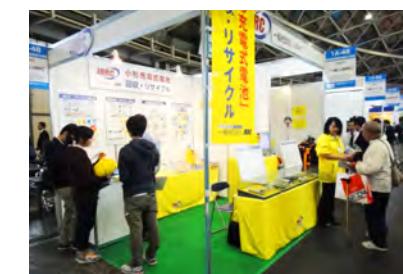
信州環境フェア2015 ● 長野



エコテクノ2015 ● 福岡



びわ湖環境ビジネスメッセ2015 ● 滋賀



メッセナゴヤ2015 ● 愛知

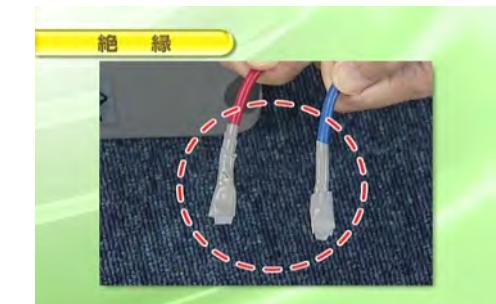
安全に回収するための活動

安全回収ハンドブック

『小型充電式電池 安全回収のハンドブック』



安全処理のビデオ



JBRCのホームページ内の
「[回収拠点]専用サイト」より
ご覧いただけます。

常設展示 おおさかATCグリーンエコプラザ

未来を担う子供たちのために…

未来を担う子供たちへの啓発のために、環境・ビジネスの育成と振興を目指す大阪環境産業振興センター「おおさかATCグリーンエコプラザ」(大阪市住之江区)にJBRCの展示ブースを設けています。同プラザは環境問題解決への企業の取り組みを展示していますが、JBRCのブースは環境総合学習の一貫として、小学校高学年、中学生、高校生に人気のあるコーナーになっています。



■大阪環境産業振興センター おおさかATCグリーンエコプラザ
大阪市住之江区南港北2丁目1-10 ATCビル ITM棟11F西側
●開館時間 午前10:00～午後5:00 ●休館日 月曜・年末年始

ニカド電池、ニッケル水素電池、 リチウムイオン電池には 地球の希少資源が使われています。

■輸入資源に頼っているニカド電池、 ニッケル水素電池、リチウムイオン電池

ニカド電池、ニッケル水素電池、リチウムイオン電池に使われているニッケル、カドミウムやコバルトなどは、地球上の資源の中でも産出量が特に少ないとから、希少資源と呼ばれています。日本に関していえば、ニッケル、カドミウム、コバルトはほぼ100%を輸入に頼っています。

■ニッケル、カドミウムと コバルトの性質と主な用途

ニッケルは、鉄と同じように延性・延性に富み、鍛造や鍛接ができます。また化学的には鉄よりも安定しているので酸化しにくい性質があります。ニカド電池、ニッケル水素電池はもちろん、ステンレス鋼、メッキ、触媒などや身近な硬貨にも使われています。

カドミウムは、青みを帯びた銀白色の光沢がある柔らかい金属で、延性・延性があり、加工しやすい性質を持っていて、ほとんどニカド電池の原料に用いられています。

コバルトは、鉄に似た灰白色の結晶で空気中(室温)では安定であり、リチウムイオン電池に多く使われています。その他、磁性合金(永久磁石)や非鉄合金、耐熱性合金など合金としても多く用いられています。

ニカド電池、ニッケル水素電池、リチウムイオン電池は、このように重要な物質を回収することができる私たちの大切な資源でもあります。

JBRCは、小型充電式電池に使用されているニッケル、カドミウム、コバルトなど希少資源を再資源化し、「地球環境との共存」、そして「未来の地球のために」、力を尽くしていきます。



エコライフ始めよう

